



第11号



平成30年9月1日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

埼玉県立豊岡高等学校

同窓会 会報編集委員会

この度、創立百周年実行委員長の大任を拝しました上原です。PTA・後援会会长を務めた後も豊岡高校とともに歩めることに、改めて感謝申し上げます。

振り返れば、大正九年に農学校から始まつた本校は、実業学校の時代を経て、昭和三十九年に現在の埼玉県立豊岡高等学校となりました。この間、地域や社会に、多数の活躍する人材を輩出し続けて、いよいよ百周年の大きな節目を迎えるとしています。これまでにも、同窓生をはじめ、大変多くの方々から数限りない御声援、御助言を頂きました。心からの感謝の意を込めて、皆とともに喜び祝える記念事業にしたいと思います。

思えば、私が在籍したころは、一学年は八クラスで現在と同じでしたが、一クラスは四十五人、全校で千人を超える大きな学校

でした。学校周辺も、まだまだ緑が多く、現在よりのんびりとした空間が広がっていたような気がします。毎日部活動で汗を流した体育館、走つてばかりのグラウンド、文化祭で盛り上がる校舎内も今とは異なる姿をしていました。学校は、その後も生徒が増え続け、平成元年入学生の十一学級四十八人クラスでピーコに達しました。学校内外での生徒や先生方等の溢れんばかりの賑やかさに合わせるように、急速な勢いで周辺の再開発が進み、住宅や大規模な商業施設が建設されるなどして、駅前がきれいに整備され都市化し、

平成二十五年度、これまでの豊岡高校が次のステップに向かうべく、「進学重視型単位制高校」として生まれ変わりました。生徒の多様な希望に応えられるよ



創立百周年を迎えるにあたり

創立百周年実行委員会
委員長 上原みゆき

でした。学校周辺も、まだまだ緑が多く、現在よりのんびりとした空間が広がっていたような気がします。毎日部活動で汗を流した体育館、走つてばかりの新豊岡高校にわが子とともに、関わってこられたことにも嬉しさを感じているところです。新しくなった本校の基本理念は、目標す学校像に「地域に根ざし、豊かな人間性を培う進学校」となっています。この理念のもとで、これからも社会に有用な人材を育成し、地域や社会の発展に寄与していくことが大きな役割であろうと思っています。関係の皆様に引き続き御支援、御指導を賜りながら、百周年を機により一層、地域に信頼される学校を目指し、同窓生や関係者の皆様の絆がこれまで以上に強くつながる学校になるよう御協力をお願いいたします。

もうすぐ百周年

豊高周年記念事業の歩み

豊岡高校は、2年後の2020年に創立百周年を迎えます。同窓会では実行委員会（学校・PTA・後援会・同窓会）の要請を受け記念事業を企画中です。今回の特集では、これまで学校で実施された周年事業の概要と、現在計画中の百周年記念事業についてご紹介します。

創立三十五周年 昭和30年（1955）

盛大に行われた記念行事

創立三十五周年時には、

5月10日号）

学校が創立三十

五周年を迎えた昭

和30年は、日本が

戦後の混乱から抜

け出し、高度経済成長期

に突入した時期でした。

こうした社会情勢の変化

も、大々的な周年行事を

行う機運を高めたようす。

があわせ、通常秋に行わ

れている学校祭と運動会

の日程を変更し、一連の

行事を3日間にわたって

行うという気合のはいり

ょうで、「本校かつてな



昭和30年頃の豊高

い一大祝典の開催」と当時の学校新聞『豊高新聞』にも記載されています。（昭和30年5月10日号）

記念式典のほか、記念誌の発行や謝恩会の開催、図書館の建設などの記念事業が実施されました。

創立三十五周年時には、

記念式典のほか、記念誌

の発行や謝恩会の開催、

図書館の建設などの記念

事業が実施されました。

12月に行われる記念式典

にあわせ、通常秋に行わ

れている学校祭と運動会

の日程を変更し、一連の

行事を3日間にわたって

行うという気合のはいり

ょうで、「本校かつてな

学校祭では演劇の上演

ました。

や商業関係の展示会など

が実施されたほか、式典

も、大々的な周年行事を

行う機運を高めたようす。

豊農・豊

実時代を

知る貴重

な史料で

もありま



（昭和31年2月2日号）

記念誌の発行

『創立三十五周年記念誌』は、昭和31年5月に発行されました。内容は関係者の挨拶文などのほか、当時の学校の概況、職員と同窓会員の名簿などがまとめられています。表紙は記念事業の一環として建てられた図書館の建物のイラストで、図書館については、記念誌冒頭で写真も掲載されています。発行当時は学校創立期を知る職員や同窓生も多かったため、学校沿革や授業時数・校舎・生徒数等の変遷をまとめた表などには今ではデータが散逸してしまった内容も多数記載されており、

図書館は木造モルタル塗り平屋の建物で、大きな窓を持つ閲覧室や視聴覚室を備えており、「県下に誇るモダンな九十六坪の大図書館」という

『豊高新聞』の言葉が、当時の生徒達の喜びを今に伝えています。（昭和31年2月2日号）

図書館の建設

当時の豊岡実業高校は小規模な図書室はあったものの、独立した図書館が無く、学習環境の充実に向けて図書館の建設が進められていきました。

この図書館は創立三十五周年の年に完成する予定でしたが、工事の遅れにより翌年の竣工となりました。しかし、待望の図書館建設を祝う記念行事は実施されています。

周辺の年に完成する予定

でした。しかし、待望の図

書館建設を祝う記念行事

は実施されています。

図書館は木造モルタル塗り平屋の建物で、大きな窓を持つ閲覧室や視聴覚室を備えており、「県下に誇るモダンな九十六坪の大図書館」という

『豊高新聞』の言葉が、当時の生徒達の喜びを今に伝えています。（昭和31年2月2日号）

創立五十年

昭和45年(1970)
※記念式典等は昭和47年
に実施

記念式典の実施

創立五十周年記念式典は、五十周年の年ではなく、その2年後の昭和47年4月28日に行われました。式典が五十周年の年に実施されなかつたのは、当時実施されていた校舎の増築が完了するのを待つたためと思われます。

展の歴史をそれぞれに見
つめ直した事でしょう。

記念誌の発行

創立50周年記念誌



創立50周年記念誌

た。豊高はこの頃には全な普通科高校となり、生徒数も千二百名を超えていました。

式典に参加した在校生や同窓生、

学校関係者は、学校発

校舎の増築



昭和48年頃の豊高

校舎の増築

豊高が創立五十周年を迎えた昭和40年代後半は、生徒数の増加を受けて校舎の増築が相次いで行われた学校の発展期にあたります。五十周年記念式典は、昭和47年に完成した増築校舎の落成記念式典を兼ねて行われました。この増築工事により、現在の1号館、2号館はほぼ今の姿となつたほか、図書館が新しくなるなど、学校施設の充実が図られました。この時整備された中庭は、今も生徒達の憩いの場となつています。

卒業生と旧・現職員のデータを記したもので、名簿だけでなく、懐かしい写真や学校沿革年表、同窓生からのメッセージなども掲載されており、周年誌的な要素を含んだものとなっています。

周年記念で 発行された 同窓会会員名簿

卒業生と旧・現職員のデータを記したもので、名簿だけでなく、懐かしい写真や学校沿革年表、同窓生からのメッセージなども掲載されており、周年誌的な要素を含んだものとなっています。

未来に繋ぐ 先人の思い



木下同窓會長 博

歩みを振り返る時、先人の多くの苦難を偲ぶことができます。

「艱難汝を玉にす」の格言もありますが、教職員、生徒一丸となってこの困難に立ち向い、「質実剛健」の校風を実践し、地域から愛され信頼される学校づくりに全力を傾注して、本校の礎を確たるものとされました。

校生諸君にも努力を重ねていただきたいと思います。

学校では、間近に迫つた百周年記念事業に向けて、学校・PTA・後援会・同窓会などの役員で構成する創立百周年実行委員会で議論が進んでいます。同窓会としても将来に残る事業に応分の負担をすべく、常任理事会で決定しました。多くの皆様に百周年の意義を考え、関心を寄せていただきます。

となり、参加百三名。吉田世栄夫先生にご臨席頂きました。我々は、卒業してはや四十二年、人生の節目と呼ばれる還暦です。開催名称も「感謝、感激、還暦、D O想会 豊高最高！」としました。

集合時間に

なると、次々にやつてくれる人達、名前を聞いて、話すうちにやつと分かる人ばかり。

クラスごとに用意され

が流れます。その頃には、すっかり昭和五十年の豊高生になっています。楽しい時間は、あつという間に過ぎて、参加者全員の写真撮影ですべて終了となりました。

最後に、幹事からお礼の挨拶があり、

同時に次回同窓会開催は豊高創立百年の時に行いますとの宣言をして閉会となりました。

豊岡高校は大正九年（一九二〇）の創立で、二年後の二〇二〇年、東京オリンピック・パラリンピックの年に百周年を迎えます。この間の学校の

き起こしました。母校も
その渦に巻き込まれ、翻
弄され、先輩方は勉学と
勤労動員の二足のわらじ
の学業生活を余儀なくさ
れました。

魂は連綿として今に引き継がれていることを信じ、「豊實の生徒なら安心だ」という社会の高い評価に裏付けられた伝統校の誇りを傷つけないよう、在

平成二十九年十一月
十八日（土）入間市役所
前のプリーツドットアイ
にて、昭和
五十年度卒の
同窓会が開催
されました。
今回で三回目

後期高齢者とは思えないくらい元気なお姿でした
次に全体及びクラスごとに写真撮影を行いました
続いて、豊高祭や今の校内風景のビデオ

Tea
Time

大野 和裕



たテーブルには、卒業アルバムから写した写真が置いてあります。若かりし頃の写真を指さしながら、会話が弾みます。

そして陸上部顧問だった吉田先生からお言葉をいただきました。なんと後期高齢者とは思えないくらい元気なお姿でした。

A group photograph of about twenty people, mostly men in suits, seated in rows on chairs in a formal setting. They are all wearing name tags. The background shows a plain wall.

思い出語り

インターハイ出場を
懸けた闘い

都築 幸男



「埼玉県高校卓球団体戦」準決勝・立教高校との戦いの前、顧問の田島先生と私の会話である。

私の前の試合が二対二で決勝に進めるかどうかは、この私の試合にかかっていた。重要なこの局面にさすがの先生もわずかに声が震えていた。

私の相手は「カットマン」。日頃から大好きな戦法で自信満々であつたのだ。後にも先にも私の人生でこんな自信に溢れた言葉を発したことは

子ガットマン上原ルリ
プドライブが得意の平沼元気だけが取り柄の私。
当時の埼玉県内高校卓球の勢力図は強豪で頭一つ上の熊谷商業、そして大宮商業、川口高校、飯能高校、豊實といつたところが上位を占めていたところがその年から今まで東京都のチームであつて埼玉県に移ってきた。立教高校が突如として

決勝は翌日場所を変えて、大宮商業の体育館で大宮商業と対戦三対一で完勝、見事に優勝して岡山で行われたインターハイに出場を果たした。インターハイでの結果は、一回戦で熊本工業と対戦三対一で完敗したが、その後熊本工業は勝ち進み準優勝を成し遂げた。

後日談として、約四年後、対戦した立教の相手

その当時の同期は私も含め八人でしたが、残念ながら一人故人となり、現在は七人となりました。私は現在五十七歳で豊高を卒業してから約四十年たちますが、この七人は何かあれば電話一本ですぐに集合するようなつき

ティングマシンなども購入していただき過分な環境で野球をさせていただ

の宝物です。
(昭54高卒)

木村
剛己

そしてこのことが我々に幸運をもたらした。準々決勝でその立教と強豪能谷商業が対戦、都会的でスマートな卓球をする立

と同じ会社で同僚となり、
彼が私に「あの時豊岡の
山猿に負けたことは自分
の一生の不覚、あんなに
悔しかったことはない」

「田舎者の山猿にも田舎者の意地がある、格好だけで判断するな」と言つて、田舎返した。(昭36高卒)



初めまして。第六十八期生徒会長を務めました。私は、豊岡高校同窓会の仲間に入りたいだとき、ありがとうございます。卒業してからまだ日は浅いですが、これからよろしくお願いします。

本日は、私が感じる豊岡高校の魅力を話したいと思います。

まず、はじめに生徒の多くが勉強にも行事にも一生懸命なことです。自習室では、テストが近づくと自然と席が埋まり、教室でも互いに教えあいながら勉強する姿が見られ、行事が近づくと近辺の施設を利用し、練習したり、話し合ったりなど当たり前のようにやれる

浅利です。今回は、豊岡高校同窓会の仲間に入りたいだとき、ありがとうございます。卒業してからまだ日は浅いですが、これからよろしくお願いします。



新同窓会員あいさつ

浅利 美里

生徒が多いのがすごいと思いました。

豊高には生徒の意見を取り入れるための機会が多くあるのも誇るべきところだと思います。ですが、現状その仕組みは上手く機能していない気がします。意見を形にすることは簡単なことではありませんが、生徒自ら立ち上がり先生方と協力して、より良い学校づくりをしていくほよいと思っています。

【ONE FOR ALL ALL FOR ONE】

顧問 山田美和

豊岡高校に着任して2年目になりました。女子バスケットボール部は現在2年生6名、1年生8名の計14名で、県大会出場を目指し毎日練習をしています。私自身は女子部を指導することが初めてなので、試行錯誤の毎日です。練習は基礎練習を大切にしながら、判断

部活動訪問 (第9回)

女子バスケットボール部

取り入れています。

生徒たちは、私の話をよく聞き入れてくれ、意欲的に練習メニューに取り組んでいます。これは、最初に指導した先輩の代から続いています。豊岡高校の生徒は、本当に素直で素晴らしいなと思いました。一見すると「つまらない」「苦しい」と思われるような基礎練習も楽しんで取り組むような姿勢も見られました。写真は今年の6月に3年生の引退が決まった時の試合後に撮ったものです。

や悔しい思いなど、いろいろな事を考えて引退の日を迎えたのだなと思います。

短い時間でしたが、温かい時間をつくる生徒たちを見て、チームワークの大切さを再認識させられました。今後も人と人のつながりを大切にしたチームづくりをしていこうと考えています。



上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成30年5月23日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

3 平成30年度事業計画

(1) 会議等

常任理事会 平成30年6月25日

(2) 同窓会報の発行 第11号

第11号 平成30年9月1日発行予定

(3) 文化祭参加 平成30年9月8日、9日

(4) 百周年記念誌の発行準備

(5) 同窓会入会式説明 平成31年3月8日予定

(6) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(7) 第68回卒業式出席 平成31年3月9日予定

(8) 賛助金の受付

・金額：一口 1,000円

・方法：ゆうちょ銀行に開設した口座に振込
名義「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」

4 平成30年度予算

(1) 一般会計の部（普通預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会 費	3,200,000	10,000円×320人（30年度卒業生）
2 賛助金	100,000	1,000円×100口
3 繰入金	0	
4 雑 入	237	預金利子
5 繰越金	6,793,763	前年度から繰越
合 計	10,094,000	

(支出) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会議費	250,000	常任理事会経費等
2 慶弔費	100,000	慶弔費
3 事務費	1,500,000	プリンター、カメラ、HP作成管理料等
4 卒業生費	150,000	卒業証書ケース代
5 激励費	700,000	大会参加激励費等
6 講師謝礼費	50,000	講演講師謝礼
7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	5,000,000	創立100周年記念事業実行委員会会計へ
10 繰出金	750,000	同総会報特別会計の部へ繰出
11 予備費	1,594,000	
合 計	10,094,000	

上記のとおり提案いたします。

平成30年6月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(2) 一般会計の部（定額預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰越金	17,038,858	前年度から繰越
2 積立金	0	一般会計（普通預金）から繰入
3 預金利子	1,142	預金利子
合 計	17,040,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり提案いたします。

平成30年6月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(3) 特別会計の部

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰入金	750,000	一般会計の部繰出金より
2 預金利子	783	預金利子
3 繰越金	18,217	前年度からの繰越
合 計	769,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	50,000	編集委員会会議費
2 事務費	550,000	会報・封筒印刷・送料
3 予備費	169,000	
合 計	769,000	

上記のとおり提案いたします。

平成30年6月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

5 その他



9月8日、9日 文化祭

平成30年度 常任理事会報告

過ぐる平成30年6月25日、「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」平成30年度常任理事会を開催、無事終了いたしましたのでその概要をお伝えします。

議 事

1 平成29年度事業報告

(1) 会議等

常任理事会 平成29年6月15日

(2) 同窓会報の発行

第10号 平成29年9月1日発行

(3) 文化祭参加 平成29年9月2日・3日

(4) 同窓会入会式説明 平成30年3月9日

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第70回卒業式 平成30年3月10日

(7) 関東・全国大会出場選手の激励

- ・関東高校アーチェリー選手権大会出場
- ・全国高校ダンスドリル選手権大会出場
- ・バトントワーリング関東大会出場
- ・関東高校選抜陸上競技選手権大会
- ・関東高校アーチェリー選抜大会出場
- ・全国高校アーチェリー選抜大会出場

(8) 同窓会会報賛助金の受付

2 平成29年度決算報告及び監査報告

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

(1) 一般会計の部（飯能信用金庫 入間支店 普通預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)

8,050,155円 - 1,256,392円 = 6,793,763円

(収入)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	3,059,136	10,000円×306人(29年度卒業生)-振込手数料
2 賛助金	263,000	1,000円×263口（延べ113人）
3 繰入金	0	
4 雑 入	35	預金利子
5 繰越金	4,727,984	前年度から繰越
合 計	8,050,155	

(支出)

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	128,434	常任理事会経費等
2 廉弔費	30,040	常任理事逝去に伴う香典代等
3 事務費	195,422	事務局使用料、エアコン設置費、切手代等
4 卒業生費	102,496	卒業証書ケース代
5 激励費	300,000	関東大会・全国大会等出場
6 講師謝礼費	0	
7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	0	
10 繰出金	500,000	特別会計の部へ繰出
11 予備費	0	
合 計	1,256,392	

上記のとおり平成29年度の決算報告をいたします。

平成30年6月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成30年5月23日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(2) 一般会計の部（定期預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
17,038,858円 - 0円 = 17,038,858円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	17,037,448	前年度から繰越
2 積立金	0	
3 預金利子	1,410	預金利子
合 計	17,038,858	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり平成29年度の決算報告をいたします。

平成30年6月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

平成30年5月23日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(3) 特別会計の部（いるま野農協 東金子支店 普通預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
724,110円 - 705,893円 = 18,217円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰入金	500,000	一般会計の部繰出金より
2 預金利子	2	預金利子
3 繰越金	224,108	前年度からの繰越
合 計	724,110	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	9,000	編集委員会議夕食代
2 事務費	696,893	第10号会報・送料、パソコン・スキャナー等
3 予備費	0	
合 計	705,893	

上記のとおり平成28年度の決算報告をいたします。

平成30年6月25日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

事務局だより

ようこそ豊高同窓会へ。

今年も信田・三ツ木の

正月の親

ができました。新入会

員の皆さんよろしくお願

いします

卷之三

母校は創立百周年という

大きな節目を迎えます。

我國舊約全書

部会において皮愛体制に

就いたところです。

卷之三

卷之三



各種資料提供のお願い

平成29年度卒業生 クラス代表	
1組	小野寺 龍也
	大野 梨桜
2組	石森 陽奈
	横澤 智子
3組	廣瀬 友介
	丸山 拓海
4組	足立 正寛
	◎信田 洪稀
5組	世良 駿汰
	齊藤 優花
6組	安彦 大輝
	五十嵐 梓
7組	吉田 碧生
	◎三ツ木 裕嗣
8組	酒井 雄大
	永嶋 時人

◎ 年次代表（同窓会理事）

次回の予告と

本会常任理事・市川保
一様が、去る平成30年1
月5日ご逝去（享年八十
八歳）されました。謹んで
哀悼の意を捧げます。

訃報

併せて皆様に愛される
紙面作りに向けて、忌憚
のないご意見・ご要望を
お聞かせ下さい。

次号は、来年9月1日の発行予定です。つきましては、平成31年3月末を目途に、「在学時代の思い出」や「近況報告」等、一般投稿を募集して

『出藍』は、豊農・豊實・豊高の卒業生皆様や各時代の教職員、地域の方々との交流を図るために発行しております。

編輯後記

百五十周年、二百周年の頃、豊高はどんな姿になつてゐるのでしようか。▼この同窓会報もどんな形で発行されているのでしようか。想像もつきません。私は紙をめくる感覚が好きなので今のままでいいなあと願つています。(美)

る中で、母校豊高は本当に長い歴史と伝統をもつ学校なのだなあとつくづく感じています。（恵）

に加えて、百周年記念誌についても検討が始まりました▼この会報や百周年記念誌の内容を検討す

▼昨年度から、編集委員として会議に参加しています。今もまだ分からな
いことばかりです。最近の会議では会報『出藍』